

自然再生を考える調査体験会2020

森づくりと生き物しらべ

9:00~
12:00

2月

6日(土)

2021年

冬の沢にくらす
生き物を観察
しよう!



冬の沢歩きと 沢の生き物観察!



沢の源流部まで歩きながら、沢や湧水で冬をすごす
カエル、魚や川虫を観察しましょう!

対象者: 子ども~大人 (小学生以下は保護者同伴のこと)

参加定員: 25名程度

実施場所: 釧路町達古武 (裏面参照)

集合/解散場所: 達古武オートキャンプ場駐車場

申し込み方法: 裏面参照 ファクス011-892-5318 または メール takkob@cho.co.jp



釧路湿原達古武地域における 自然再生を考える調査体験会のご案内



現在、釧路湿原周辺では、失われてしまった自然を取り戻す「自然再生」の取り組みを続けています。その一環として、湿原東部にある達古武湖周辺では、湿原を取り巻く人工林（環境省所管地）を本来の広葉樹林に戻そうと試みています。

この体験会は2004年から毎年開催しています。今回は、達古武の沢を源流部まで歩きながら、湧水や沢にくらす生き物たちの様子を観察します。そのなかで、沢の環境をまもる森の役割について考えてみます。



◆昨年の冬の体験会の様子

開催日 : 2021年2月6日(土) 9:00~12:00
申込み締め切り日 : 2021年1月29日(金)

※新型コロナウイルス対策を行った上で実施する予定ですが、実施時期の感染状況によっては、内容の一部変更や中止することがあります。



★今回の舞台、達古武地域について

達古武地域は、釧路湿原の東部に位置する達古武湖を中心とする地域です。環境省では、この地域を自然再生のモデルケースとして、さまざまな調査・取り組みを2002年度から開始しています。

今回体験会を行うのは、達古武湖北部に環境省が所管するカラマツ人工林です。ここでは、人工林を地域本来の広葉樹の自然林に戻していくための調査・実験を行なっています。

★2018年度の調査体験会の紹介

9月「森や沢の動物を調べよう」



森で野ネズミの捕獲や観察したり、沢で魚や水生昆虫の採集・観察しました。アカネズミとエソヤチネズミが捕まる。

2月「冬の沢歩きと生き物観察」



シカの痕跡や、沢の魚や湧水にくらす生き物を観察しました。大きなヤマメも捕まりました。

★2019年度の調査体験会の紹介

9月「森や沢の動物を調べよう」



森での野ネズミの捕獲・観察や、沢で魚や水生昆虫の観察をしました。トミヨなど多くの魚が捕まりました。

2月「冬の沢歩きと生き物観察」



沢を歩きながら、シカの痕跡や、湧水や水辺の生き物を観察しました。積雪が少なく、湧水の様子がよく見られました。

※下記の欄にご記入の上、ファクスまたは電子メールでご送付ください。いただいた情報はこの行事の連絡のみに使用します。

自然再生を考える調査体験会「森づくりと生き物しらべ 2020」申し込み用紙

お名前	※連名での記入も可 ※小学生以下は保護者同伴のこと			
ご住所				
電話番号	FAX番号 (あれば)	電子メール (あれば)		
申し込み先	FAX: 011-892-5318 Mail: takkob@cho.co.jp			※申し込まれた方には、前回の紹介資料や今回の説明資料を開催前にお送りします。



◆主催 環境省釧路自然環境事務所

◆問い合わせ先【事務局】

(株)さっぽろ自然調査館 (担当: 渡辺)
 TEL 011-892-5306 FAX 011-892-5318